風戸研究奨励会 第十回(平成28年度)
＜風戸賞＞・＜風戸研究奨励賞＞
授賞式 開催報告

公益財団法人風戸研究奨励会（理事長 廣川 信隆）は、2017 年 3 月 4 日（土）、経団連会館において、第十回（平成 28 年度）〈風戸賞〉・〈風戸研究奨励賞〉授賞式を開催しました。
受賞者は下記の 4 名です。

〈風戸賞〉

北川　大樹 殿　　国立遺伝学研究所　分子遺伝研究系
教授
「電子顕微鏡を用いた中心小体構造形成過程の解析」

溝口　照康 殿　　東京大学　生産技術研究所
准教授
「ELNES 理論計算に関する基礎的研究と物質研究への応用」

〈風戸研究奨励賞〉

市居　修　殿　　北海道大学　大学院　獣医学研究科
准教授
「走査型電子顕微鏡の応用的手法による腎臓病理解析法の革新」

小林　俊介 殿　　ファインセラミックスセンター　ナノ構造研究所
研究員
「走査透過型電子顕微鏡法による表面・界面における微小格子変形解析」

授賞式には、公益社団法人日本顕微鏡学会や研究機関、企業の研究者や各界の諸先輩、過去の受賞者の方など、多数の方にご参加頂き、盛会に開催されました。授賞式後には懇親パーティーを行い、歓談が弾み、貴重な交流の場となりました。ご参加いただいた皆様には厚くお礼申し上げます。

授賞式

理事長 挨拶
廣川　信隆（東京大学大学院特任教授）

授与式、受賞者ご挨拶

＜風戸賞＞ 北川 大樹 様

国立遺伝学研究所 分子遺伝研究系

教授

研究課題：

「電子顕微鏡を用いた

中心小体構造形成過程の解析」

＜風戸賞＞ 溝口 照康 様

東京大学 生産技術研究所

准教授

研究課題：

「ELNES 理論計算に関する基礎的研究と

物質研究への応用」

＜風戸研究奨励賞＞ 市居 修 様

北海道大学 大学院 獣医学研究科

准教授

研究課題：

「走査型電子顕微鏡の応用的手法による

腎臓病理解析法の革新」

＜風戸研究奨励賞＞ 小林 俊介 様

ファインセラミックスセンター ナノ構造研究所

研究員

研究課題：

「走査透過型電子顕微鏡法による

表面・界面における微小格子変形解析」

記念写真

懇親パーティー

風戸研究奨励会

選考委員 末永 和知

挨拶

受賞者へのお祝いの言葉と、今日における最先端科学技術の礎となった風戸健二氏と伊藤一夫氏の功績に想いを馳せ、電子顕微鏡分野の更なる発展に期待していると述べました。

ご祝辞

受賞者へのお祝いの言葉と、国際顕微鏡学会連合としても今後の若手研究者の活躍に期待していると述べられました。

公益社団法人日本顕微鏡学会

常務理事 光岡 薫 様

乾杯

受賞者へのお祝いの言葉と、日本電子の社業を盛り立てることで風戸氏の思いを引き継ぎ、これからも若手研究者を支援していきたいと述べられました。

日本電子 代表取締役社長 栗原 権右衛門 様

祝辞

風戸研究奨励会 元理事長 田中 通義

受賞者代表ご挨拶

東京大学 大学院 医学系研究科

教授 吉川 雅英 様

埼玉工業大学 先端科学研究所

教授 内田 正哉 様

ご歓談

多くの方々にご参加頂きました。

中締め

受賞者へのお祝いの言葉がありました。今後も良い研究をし、風戸賞・風戸研究奨励賞の素晴らしさを確立して欲しいと、受賞者への期待の言葉を述べました。

風戸研究奨励会

選考委員　宮澤　淳夫